

令和3年5月吉日

日本薬剤師会 会員施設の管理薬剤師 殿
日本病院薬剤師会 病院薬剤部門の長 殿

日本病院薬剤師会
会 長 木平 健治
学術委員会
委員長 島田 美樹
学術第1小委員会
委員長 岸本 真

地域包括ケアシステムの回復期における
病院薬剤師と薬局薬剤師との連携に関する調査研究へのご協力をお願い

平素より、日本病院薬剤師会の活動にご高配を賜り御礼申し上げます。

日本病院薬剤師会学術第1小委員会では、回復期における病院薬剤師と薬局薬剤師の地域医療連携に焦点を当て、連携等の現状および回復期から在宅へ必要な病院薬剤師と薬局薬剤師が欲しい情報の乖離を明らかにすることで、それを補うようなツール、業務の手引きを検討する礎とするとともに、薬剤師の取り組みから事例を検証し事例集を作成し、地域医療連携の推進を計りたいと考えています。そこで、病院薬剤師・薬局薬剤師に対してアンケート調査を実施することに致しました。

本アンケートでは、地域包括ケア病棟または回復期リハビリテーション病棟を有する病院に勤務する日本病院薬剤師会会員施設と日本薬剤師会会員施設を対象にWebアンケート調査を実施致します。

つきましては、お忙しいところ恐縮ではございますが、日病薬ホームページ（<https://www.jshp.or.jp/cont/21/0405-2.html>）に掲載しております「地域包括ケアの回復期における病院薬剤師と薬局薬剤師との連携に関する調査研究」をご確認いただき、回答フォームよりご回答をお願いします。調査開始は5月1日からとなります。回答期限に関しましては7月31日までとさせていただきます。

本活動の趣旨をご理解いただき、アンケートにご回答いただきますようお願い申し上げます。

なお、本アンケートの結果は、適切な学会および日本病院薬剤師会雑誌等を通して報告する予定としておりますが、その際、施設名、回答者名、回答者連絡先等が特定されるような形での公表は致しません。

<本調査に関するご質問・お問い合わせ先>

霧島市立医師会医療センター

岸本 真

☎0995-42-1171

E-mail : kmc-yakuzai@hayato-mc.jp

(注)本用紙は「調査項目事前確認用」のため、
回答は、回答先URL (<https://www.jshp.or.jp/cont/21/0405-2.html>) より、
Webにて行ってください。

【調査票1:保険薬局】

保険薬局薬剤師にお伺いたします。

A-1 保険薬局

A-1-1 2021年5月～6月(2ヶ月間)のうち、任意の1週間における

薬剤師数 常勤()人 非常勤()人

注)非常勤職員の常勤換算については、以下の方法で算出するものとした。また
常勤換算後の職員数は、小数点以下第一位まで回答するものとした。

- ・1週間に数回勤務の場合:(非常勤職員の1週間の勤務時間)÷(貴局が定めている常勤職員の1週間の勤務時間)
- ・1ヶ月に数回勤務の場合:(非常勤職員の1ヶ月の勤務時間)÷(貴局が定めている常勤職員の1週間の勤務時間×4)

A-1-2 2021年5月～6月(2ヶ月間)のうち、任意の1週間における

1日の平均処方箋枚数 ()枚

A-1-3 在宅患者訪問薬剤管理指導 または 居宅療養管理指導実施 されていますか

- 基本的に対応している
- 状況によっては対応できないことがある
- 対応していない

A-1-4 主な処方箋応需先は

- 病院(門前)
- 病院(広域)
- 診療所(門前)
- その他

A-1-5 立地

- 医療機関隣接
- 敷地内
- 医療モール
- 近隣に医療機関なし

A-1-6 かかりつけ薬剤師指導料の届け出の有無

- あり
- なし

A-1-7 病院からの入退院の情報の把握について(以下のうち、最も該当する患者が多い
選択肢を選んでください)

- 入退院の情報はつかんでおり、どの病棟(地域包括ケア病棟・回復期リハビリ病棟等)から退院したかもわかっている。
- 入退院の情報はつかんでいるが、病棟の種類はわからない。
- 入退院の情報をつかんでいない。

A-1-8 病院薬剤師が勤務している病院との患者情報等に関する連携を行っていましたか

- はい
- いいえ

A-1-9 A-1-8で「はい」と回答された場合、どの職種と連携していますか(該当するものを全て選択してください)

- 医師
- 病院薬剤師
- 病棟看護師
- ケアマネジャー
- ソーシャルワーカー
- その他(自由記載)

A-1-10 退院前カンファレンスへの参加(病院から退院前カンファレンスへの出席案内があった際の参加割合)

- ほとんど行っている(95%以上)
- かなり行っている(65~95%未満)
- 半分程度(35~65%未満)
- 若干行っている(5~35%未満)
- ほとんど行っていない(5%未満)
- 今まで出席案内がない

A-1-11 退院時共同指導料の算定(病院から退院前カンファレンスへの出席案内があった際の算定割合)

- ほとんど行っている(95%以上)
- かなり行っている(65~95%未満)
- 半分程度(35~65%未満)
- 若干行っている(5~35%未満)
- ほとんど行っていない(5%未満)
- 今まで出席案内がない

COPY

B-1 退院した患者について実際に病院から提供されたことがある情報にチェックを入れてください(該当するものを全て選択してください)

<項目 A>

- 1)主病名
- 2)既往歴
- 3)禁忌薬
- 4)アレルギー歴・副作用歴
- 5)患者背景(睡眠・排尿・排便の状況、ADL、認知度など)
- 6)検査値(腎機能・肝機能など)
- 7)服薬管理方法(お薬カレンダー)
- 8)服薬方法(経口、経管など)
- 9)調剤方法(一包化、粉碎、簡易懸濁 など)
- 10)服薬状況・アドヒアランス
- 11)一般用医薬品・健康食品の有無
- 12)入院中に服用していた主な薬剤(内服・注射など)
- 13)入院中に変更(追加・増量・中止・減量・休薬)された薬剤名
- 14)入院中に変更(追加・増量・中止・減量・休薬)された薬剤の処方理由
- 15)入院中の指導内容
- 16)退院時処方内容
- 17)退院時指導内容
- 18)退院後に増量・減量・再開が必要な薬剤情報
- 19)退院後に定期的な投薬が必要な薬剤情報
- 20)退院後に定期的な検査が必要な薬剤情報
- 21)その他(自由記載)

B-2 退院した患者について病院からの提供を希望する情報にチェックを入れてください(該当するものを全て選択してください)

<項目 A>

- 1)主病名
- 2)既往歴
- 3)禁忌薬
- 4)アレルギー歴・副作用歴
- 5)患者背景(睡眠・排尿・排便の状況、ADL、認知度など)
- 6)検査値(腎機能・肝機能など)
- 7)服薬管理方法(お薬カレンダー)
- 8)服薬方法(経口、経管など)
- 9)調剤方法(一包化、粉碎、簡易懸濁 など)
- 10)服薬状況・アドヒアランス
- 11)一般用医薬品・健康食品の有無
- 12)入院中に服用していた主な薬剤(内服・注射など)
- 13)入院中に変更(追加・増量・中止・減量・休薬)された薬剤名
- 14)入院中に変更(追加・増量・中止・減量・休薬)された薬剤の処方理由
- 15)入院中の指導内容
- 16)退院時処方内容
- 17)退院時指導内容

- 18) 退院後に増量・減量・再開が必要な薬剤情報
- 19) 退院後に定期的な投薬が必要な薬剤情報
- 20) 退院後に定期的な検査が必要な薬剤情報
- 21) その他(自由記載)

B-3 入院が予定されている患者について実際に病院へ提供している情報にチェックを入れてください(該当するものを全て選択してください)

<項目 B>

- 1) 主病名
- 2) 既往歴
- 3) 禁忌薬
- 4) アレルギー歴・副作用歴
- 5) 患者背景(睡眠・排尿・排便の状況、ADL、認知度など)
- 6) 検査値(腎機能・肝機能など)
- 7) 服薬管理方法(お薬カレンダー)
- 8) 服薬方法(経口、経管など)
- 9) 調剤方法(一包化、粉碎、簡易懸濁 など)
- 10) 服薬状況・アドヒアランス
- 11) 一般用医薬品・健康食品の有無
- 12) 在宅療養中に服用していた主な薬剤(内服・注射など)
- 13) 在宅療養中に変更(追加・増量・中止・減量・休薬)された薬剤名
- 14) 在宅療養中に変更(追加・増量・中止・減量・休薬)された薬剤の処方理由
- 15) 在宅療養中の指導内容
- 16) 入院直近の処方内容
- 17) 入院直近の指導内容
- 18) 入院後に増量・減量・再開が必要な薬剤情報
- 19) 入院後に定期的な投薬が必要な薬剤情報
- 20) 入院後に定期的な検査が必要な薬剤情報
- 21) その他(自由記載)

B-4 在宅業務を行っている方にお尋ねします。在宅療養中の患者でどのような問題が多いですか(該当するものを全て選択してください)

- P1 副作用
患者が薬物有害事象に苦しんでいる
- P2 薬物選択の問題
患者が自分の病気および/または症状とは間違った薬物を使用または使用しようとしている(または薬を使用していない)
- P3 投与の問題
患者が必要とする薬物の量よりも多いまたは少ない
- P4 薬物使用の問題
患者が誤った用法で薬物を使用している
- P5 相互作用→ある・ない
既知または潜在的な薬物-薬物間または薬物-食物間相互作用がある
- P6 その他(自由記載)

B-5 医療機関との連携について実際に行っている取り組みがありましたらご記入ください
(記述)

